

## タウン情報③①

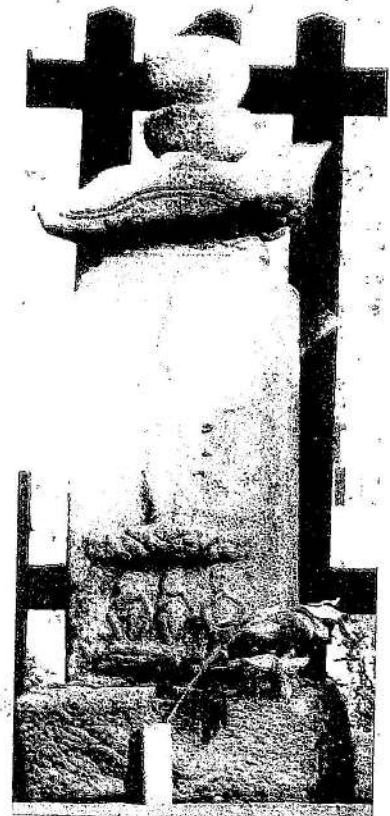
### 杉並最古の庚申塔

永福一丁目二十五番、永福寺の西門脇のお堂に五輪塔を中心に舟型浮彫りのお地藏様と笠付の庚申塔が安置されている。五輪塔の風輪には、正保三年(一六四三)の年銘から杉並区内最古の庚申塔になる。お地藏様は、亡き子の供養と生きている子の無事に成長を祈願して建立され、庚申塔は疫病や災難にかからないように、特に他村から村内に入って来ないように祈願して建立された。

杉並風土記より抜粋



永福寺西入口の石仏



正保三年銘庚申塔

## タウン情報③②

### 萬歳山永福寺

永福一丁目二五番にある曹洞宗、萬歳山永福寺は相州大住郡田原村香雲寺の末寺で大永二年(一五二三)八月に秀天慶実和尚が現在地で創建され、永福寺村の村名にもなった古寺。

現在、玉川三十三観音の第三十番礼所になっている。当山は、江戸時代よりたびたびの火災で全焼しており、近年本堂では、耐火造りの堂々とした建物で内陣須弥壇のお厨子の中に、ご本尊の秘仏十一面観音立像と不動明王毘沙門天の脇仏をお祀りしてある。

杉並区風土記より抜粋



山 門



本 堂

## タウン情報③③

### 永福稲荷神社

永福寺の隣に在り、旧永福寺の鎮守様でご祭神として宇迦之御魂命を祀っている。

稲荷社は享禄三年(一五三〇)に開山慶実和尚が永福寺の鎮守として創建され、寛延三年(一七五〇)に京都の伏見稲荷神社より「正一位稲荷五社大社大明神安鎮」の許授状を下付された。

杉並風土記より抜粋



本殿



社頭